



KAHF ニュースレター

〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2-2 京都市国際交流会館3階

財団法人 京都国際文化協会内

京都ホストファミリー協会 (KAHF)

No.19

2020年 3月発行

2020 年度 行事予定

4月

ウェルカムパーティー
→コロナウイルスのため中止

5月

春のハイキング

6月

料理教室

10月

大原バーベキューパーティー

11月

秋のハイキング

2020年1月19日(日)

新春親睦パーティー

2月

凧揚げ大会

3月

総会・会員の集い

桜、三月、別れと出会いの季節。今年も新しい留学生との出会いの季節がやってきました。

我が家の国際交流が始まったのは長男が幼稚園に入園した時にスイスの家族と出会ったのが始まりです。33年前のことです。自営の我が家は幼稚園の朝の送りと日曜日のお迎えが夫の担当でした。そこで同じようにお父さんが子供の送り迎えをしていたのがスイス人でした。我が家と同じ2人の男の子を持つお父さんで向こうから夫に声をかけてくれすぐに仲良くなりました。時々夕飯に招待されたりと家族同士の交流をするようになりました。うちの子供たちも庭に子供用の小さな小屋がある彼らの家に行くのはとても好きでした。

スイスミッションの仕事をしていた彼らの家には毎年ドイツからの留学生が来ていて、私たち家族もそこで開かれる月一のマンスリーパーティーという食事会によく誘われました。とても楽しい時代でしたが、奥さんの病気などもあって彼らは数年で帰国しました。彼らは帰国してからも二年に1度くらいのペースで日本にきました。そういう時はこちらが彼らを招待する番でした。それから彼らの関係のドイツ人と交流があり、その家によく遊びに来ていたのがKAHFの提唱者である吉田文武先生が引き受けておられた留学生、Oさんでした。彼女は私の家に来るといつも吉田先生の話をしていました。彼女は我々を吉田先生に会わせるべく、ハイキングの計画を立てていましたが、生憎その日は雨で吉田先生の家でお茶をすることになりました。先生のお宅でいろいろ話しているうちに、どうぞここに名前を書いてくださいと1枚の紙を持ってこれ、よく考えずにKAHFに入会したようです。あれから30年です。今はFaceBookやLINEという便利なツールがあり留学生との連絡や交流がずいぶん楽になりいい時代になりました。帰国した留学生との交流が続くこともいいですね。彼らが結婚をし子供ができ、私たちには世界中に孫がいます。素晴らしいことですね。その子供たちがまた日本に来る時を楽しみにこれからも「お茶の間交流」続けます。

皆様今年度もよろしくお願ひします。(西村博香)

2019年度会務報告

2019年度に41名の新しい留学生（No. 2106～2146）を受け入れて、HFとB/S会員をマッチングしました。

2019年度に新たに4名のHF会員（No. 488～491）の入会がありました。よろしくお願ひします。また、5名の会員が退会されました。これまでのご協力に感謝します。この結果、現在活動中のHF会員は97ファミリーとなりました。

2013年度に発足した新しいHF活動であるBrother/Sister(B/S)プロジェクトへ2019年度に4名のB/S会員（J-066～J-069）が新たに登録されました。B/S会員は卒業・就職などで自然退会も多く、現在の活動会員は約21名です。

KAHFの活動は、HFおよびB/S会員の留学生との1：1の交流が中心ですが、2019年度の共通行事として以下を実施しました。留学生、ファミリー、B/S会員間の和気あひあひの交流ができました。

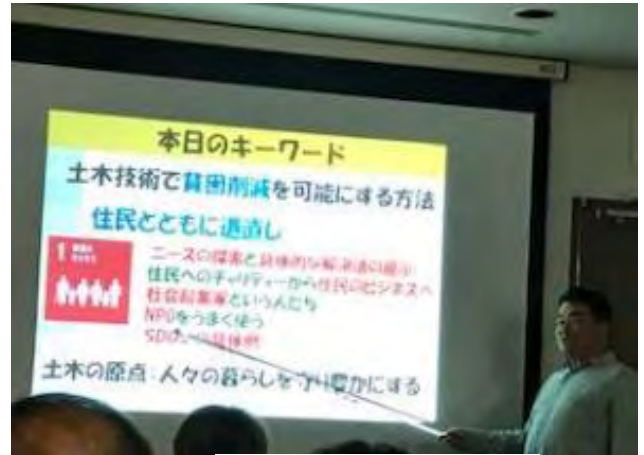
- 1) 総会・会員の集い：2019. 3. 17（日）、京都市国際交流会館会議室③+④、レストラン「玄」
- 2) ウェルカムパーティー：2019. 4. 28（日）、京都市国際交流会館会議室①+②
- 3) 初夏のウォーキング：2019. 5. 26（日）、琵琶湖疎水方面
- 4) ファミリー親睦会（ポットラックパーティー）：2019. 6. 2（日）、ウイングス京都
- 5) 料理教室：2019. 6. 30（日）、ウイングス京都
- 6) KAHF 交流会・下鴨神社名月管弦祭：2019. 9. 13（金）、左京西部いきいき市民活動センター、下鴨神社
- 7) 英語俳句にトライ：2019. 9. 29（日）、日本の風（京都市北区小山上花ノ木町）
- 8) 秋のハイキング：2019. 10. 20（日）、鞍馬、貴船方面
- 9) 英語俳句展示会＋ワークショップ：2019. 11. 3（日）、ウイングス京都
- 10) 大原バーベキューパーティー：2019. 11. 17（日）、龍池財団大原郊外学舎
- 11) 新春親睦パーティー：2020. 1. 19（日）、京都市国際交流会館イベントホール
- 12) 凧揚げ大会：2020. 2. 23（日）、左京西部いきいき市民活動センター、鴨川公園
——新型コロナウイルスの「国内発生早期」認定で中止

行事報告 2019年3月～2020年3月

総会・会員の集い 2018年3月17日(日) 11:30-15:00

@京都市国際交流会館

本年度の総会・会員の集いは京都市国際交流会館で開催しました。出席者は27名でした。まず、2Fの和食レストラン「玄」で食事をし、その後3Fの会議室③+④へ移動して、2018年度の会務報告および会計報告の後、京都大学工学研究科の木村亮教授に「世界の住民と共に道直し」と題する講演をしていただきました。同教授は「道普請人」という認定NPO法人も設立されており、アフリカやアジアの国々で土嚢を使った道路の改良を教えてもらっており、KAHFのメンバーにも興味深い話をエネルギー溢れる話術で魅了されました。会員の皆さんの好奇心旺盛な質疑応答で時間が経つのを忘れま



【木村亮教授の話】

ウェルカムパーティー 2018年4月28日(日) 14:00~16:00

@京都市国際交流会館

毎年恒例のウェルカムパーティーを本年度は蹴上の京都市国際交流会館1Fで開催しました。例年の京都大学生協吉田食堂から替わったので、参加者の減少を心配しましたが、ファミリー36名、留学生50名、合計86名の参加がありました。ケーキ、サンドイッチ、飲み物を囲んで盛り上がり、最後に素敵なお菓子を景品とするくじ引きで締めくくりました。このパーティー当日に新しい留学生9名がKAHFへの登録をしてくれました。



【会場の様子】



【会場の様子】

初夏のウォーキング 2019年5月26日(日) 13:00~15:30頃

@山科区琵琶湖疎水周辺

5月とは思えない33℃超の真夏日となりました。総勢33名で地下鉄御陵駅を出発、三条通を東進し、まず天智天皇陵を訪れました。その後、住宅街の細道、胸突き八丁の坂を経て、琵琶湖疎水沿いの道を進み、途中、疎水から離れて毘沙門堂で小休止、再び疎水に戻り、諸羽神社を経由して、JR山科駅で解散しました。



【疎水に沿って歩く】



【天智天皇陵】

ファミリー親睦会 (ポットラックパーティー) 2019年6月2日(日) 13:00~

@ウイングス京都 2階 キッチンルーム

総会以外でファミリーだけが集まるというのは珍しく、集まった10人それぞれが持ち寄った手料理をテーブルいっぱい並べ、打ち合わせしたわけでもないのに料理が重なることもありませんでした。自己紹介をしながらワイワイと話や料理に花を咲かせ、N様の音楽漫談を楽しみ、デザートを決めるのにジャンケンをし、本当に笑いの絶えない楽しい会になりました。



【ひよこ豆のカレー】



【持ち寄りデザート最高!】

料理教室 2019年6月30日(日) 13:00~17:00

@ウイングス京都 2階 キッチンルーム

色々ハプニングはありましたが、皆様の連係プレーでインド留学生バン君の指導の下、美味しいインドカレー、チャパティが仕上がりました。



下鴨神社の名月管弦祭 2018年9月13日(金) 16:00~

@左京西部いきいき市民活動センター, 下鴨神社

16:00に左京西部いきいき市民活動センター(2F, 会議室③)に集まりました。参加者はHFが9名、留学生が1家族3名で、合計12名でした。約1時間、自己紹介と持参された食事と月見団子をいただきながら、談笑しました。その後、下鴨神社まで歩いて行きました。夕闇迫る焚木に照らされた橋殿での優雅な管弦の調べにうっとり聞きほれましたが、残念ながら月は厚い雲にさえぎられて、その満月の姿を見せてはくれませんでした。



【お月見だんごおいしいなあ】

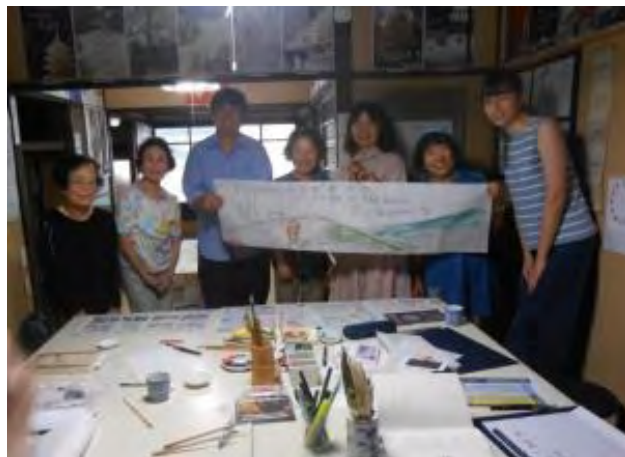


【下鴨神社にて】

英語俳句にトライ 2018年9月29日(日) 10:30~15:00頃

@日本の風(京都市北区小山上花ノ木町 55)

英語で俳句のワークショップ、無事終わりました。沢山の留学生の参加を期待していましたが、少なく残念でしたが、ファミリーの皆様のお陰で素晴らしい作品ができました。11月3日、ウィングス京都での展示会にて留学生コーナーでご覧いただけます。



秋のハイキング 2019年10月20日(日) 10:30~15:00頃

@鞍馬、貴船

暑かった夏が終わった10月20日(日)、鞍馬から貴船へのハイキングに出掛けました。叡山電鉄の「出町柳」に集まったのはファミリーと留学生、総勢22名でした。電車で鞍馬まで。大きな天狗の面(新、旧)に迎えられ、そこから鞍馬神社の本殿まで一気に登って各自持参の弁当、更に牛若丸が武芸を鍛えたと言われる木の根っこ道を経て、奥之院に、そこからは急な坂道を下り続けて貴船神社まで、結構厳しいハイキングでした。最年少のFarid君(Egypt, 5才)は元気一杯だったが、最高齢(?)の私(77歳)にはこたえました。天候に恵まれ、よい運動にはなりましたが、後でくる腰や足の痛さが心配です。皆さんはいかがでしたか?コースのどこも大変な混雑で、特に外国人が多いのには驚かされました。



【牛若丸が武芸を鍛えたと言われる木の根っこ道】



【鞍馬の天狗の面と】

2019年 大原バーベキューパーティー 2019年11月17日(日) 11:00~15:00頃

場所：龍池財団大原郊外学舎

恒例 BBQ パーティーを絶好の好天に恵まれた 11 月 17 日に実施しました。お陰で道路は渋滞、バスは 満杯でダイヤも乱れて、パーティーの開始が遅れました。参加者は例年に比べて少なく、ファミリー20名、留学生13名、BS 会員 2 名の計 35 名でした。お陰で BBQ のほか、野菜カレー、サラダ、果物、おしるこなど、食べ物はふんだんにあり、全員満腹(以上!)になりました。グラウンドでフリスビー、バドミントン、サッカーなどで楽しく過ごし、15 時頃に解散しました。一部の人は三千院、寂光院などへも足を延ばしました。丁度良い時期で、紅葉が見頃だったと思います。参加された皆さん、お疲れ様でした。



KAHF 新春親睦パーティー 2020年1月19日(日) 14:00~16:00

場所：京都市国際交流会館1階イベントホール

今年の参加者は留学生 30 名、ファミリーはお子様を含め約 40 名、見学の親子 2 名で計約 72 名でした。風邪で欠席の谷垣代表に代わり一瀬さんが挨拶。乾杯の後、会食へ。その後、ジャグリング研究会宇治の皆さんの演技が始まり、学生ファミリーも次々と参加して楽しい皿回し大会となりました。最後は、お年玉タイム。今年はお子様だけでなく学生にも図書券などが当たりました。学生、ファミリーの楽しい交流の場となりました。



凧揚げ大会 2020年2月23日(日)

@左京西部いきいき市民活動センター、鴨川公園(中止)

新型コロナウイルスの「国内早期発生」で、集会の自粛が奨励されていたため、残念ながら中止しました。

回首留學的一年半

江文心

到今日還能清楚記得抵達日本第一天的興奮和不安。興奮是因為終於實現留學的夢想，不安則是擔心根本不會說日文的自己存活的下來嗎？

在感想以前，想說說自己的背景。

我來自台灣，畢業於國立台灣大學，大三的時候突然很想留學，評估了學術環境、獎學金申請容易度等等，選擇了日本。確定了日本以後，我評估了自己的語言能力，選擇申請了 G30 國際學位(国際コース(G30))。現在就讀京大農學研究所，九月畢業以後會開始在日本工作。

跳回第一段結尾的不安，雖然過程中常因為語言的事情，感覺給周遭的人造成了困擾，但我還是無事的活下來了。在來日本以前，就滿確定自己畢業後想在日本工作，所以這一年半一直滿積極的練習日文，從日常雜談到解釋研究的說明能力，同時也努力蒐集就活的資訊(每家公司的招聘流程等)，除了一般用日文進行的管道，我也使用了以英文為主，這部分主要是想要了解哪些公司相對歡迎留學生。

在這邊想給理科後輩的、關於就活的兩個建議是，也許可以不用積極的參加實習，但請多加練習關於

研究的表達能力，如何 30 秒內淺顯易懂的說明你的研究是什麼，可以怎麼用在現實社會真的很重要！！我的練習方法是找不同年齡、不同學術背景日本人練習，最後再請同個實驗室的同學幫忙順稿，第一次的時候真的是吞吞吐吐，但會發現，經過每一次練習，自己好像又更能解釋了一點。第二個的建議是，如果已經有非常想去的幾個公司，可以先在網路上查詢一下招聘程序，或者是和日本同學討論、交換情報，這樣做可以讓自己在就活的期間更安心。

最後，留學生的大家，應該多多少少都有些時刻，感覺不到歸屬感，感覺融不進去日本然後感到疲憊吧。和幾位現在也在世界各處留學的大學同學討論過這個問題，大家不約而同都有這個感觸，也有過覺得自己撐不下去的時候。但我想或許這就是留學有趣的地方吧，在學習對抗孤獨感的同時還要認同自己。

日本相對其他國家乾淨且有制度，在京都還有溫暖的寄宿家庭協會(ホストファミリー協会)，三不五時和寄宿家庭聚餐、聊聊生活，真的是很不錯的經驗！接下來的生活，也一起努力吧(笑)！

私は今日に至るまで、日本に到着した一日目の興奮と不安をはっきり覚えています。とうとう留学の夢が叶った興奮と日本語の全然できない私がうまくやっていけるのかという不安でした。

感想を述べる前に、私のことを少し話します。

私は台湾から来ました。国立台湾大学を卒業しました。大学三年の時突然留学しようと思い立って、専門分野の事や奨学金申請の容易さなどを考えて日本に行くことに決めました。日本に行く決めてから自分の言語能力を考えて国際コース (G30) を申請することにしました。そうして今、京都大学大学院農学研究科に在学しています。9月に卒業後は日本で仕事を始めます。

はじめに述べた不安についていえば、この間言葉の問題で周りの人たちを困らせることもあったかと思いますが、結局私は無事に生き延びて来ました。来日する前から私は卒業後は日本で仕事をすると決めていたので、この一年半私は普通の雑談から自分の研究の説明に至るまで日本語でできるように、本当に一生懸命日本語の勉強をしました。同時にまた就活情報 (各企業の採用の流れなど) の収集にも努力しました。一般的な日本語の資料だけでなく主に英語の資料も利用しました。これは、どこの企業がより留学生を欲しがっているかを知ろうと思ったからです。

ここで就活に関して理科系の後輩に伝えたいことを二点述べます。企業のインターンシップにはそんなに積極的に参加することは無いかと思います。それよりも、自分のやっている研究についての説明能力を鍛えてください。貴方がどんな研究をしているのか、また貴方の研究が社会でどんな役に立つかを 30 秒で分かり易く説明できるようにすることが非常に重要で

す!!! 私の練習方法はいろいろな年齢の人や専門分野の異なる日本人に話を聞いてもらうことです。そして面接前に自分の研究室の日本人学生に原稿を見てもらいました。最初はしどろもどろでしたが練習を重ねる毎に少しずつうまくやれるようになりました。もう一点はもし幾つか是非入りたい会社があれば、まずネット上で募集要領をよく調べ、日本人学生と話したり情報交換したりすることです。こうすることで就活期間中自分を納得させることができます。

最後に、留学生の皆さんは多かれ少なかれ、日本社会に受け入れられなかったり、溶け込めていないように感じて疲れ切ってしまうときがあると思います。世界各地に留学している台湾大学時代の何人かの友人と話をする、皆同じような感触を持ち、耐えきれなくなることもあると言います。しかし私はこれが留学の醍醐味じゃないかと思っています。孤独に耐えることを学ぶと同時に自己認識を深めるでしょう。

日本はほかの国に比べて清潔で制度が整っています。京都には暖かい京都ホストファミリー協会があります。時々ホストファミリーと一緒に食事をしたり、世間話をしたりできたのは本当に良い経験でした!

これからの生活も一緒に頑張りましょう (笑) !

★ファミリーから

江さんとは KAHF 主催の新年会で初めてお会いしました。

豆腐を使って味覚の定量化を研究しているという彼女の話がとても興味深く、その明るい人柄とともに大変印象に残りました。

来日時は少したどたどしかった日本語もあっという間に上達し、ご本人のたゆまぬ努力で就職先も無事決まりました。

ご自身の興味、目指す方向をしっかりと把握したうえで努力する姿勢は、私も見習いたいところです。

彼女の更なる活躍を楽しみにしております。

青山由香子

歴史って政権により変わるもの？

A-5 西村俊廣

何年か前だが終戦だったか開戦記念日に、TV で渋谷を歩くつけまつげばっちりのコギャルにインタビューをしていた。「えっ、日本はアメリカと戦争をしたんですか？それでどっちが勝ったんですか？」思わず大笑いをしたが、今はそれを笑えないほど、昭和史が混沌として来ている様に思う。

私は「戦争を知らない子供たち」の世代で、ほんの数年の時間差で平和になった日本に生まれた。戦後民主主義教育を受け、日本が戦争で世界、特にアジアに甚大な損害を与えたことを自明の事として受け入れた。親の世代の誤りでは済まされない、今でも償いの気持ちは持ち続けている。KAHFに入っても、それだけが理由では無いが、アジアの留学生を中心に受け入れてきた。

私は南京虐殺も 731 部隊も徴用工も慰安婦も「あった」と考える立場である。昭和 30 年代の小学生の頃はまだまだ戦争の匂いが残っていた。ニッケル鉱山があり、そこに徴用されていた韓国朝鮮人が村はずれに部落を作り住んでいた。親から近づかない様に言われ、学校でもその子たちを虐めた。日本は正義の国で、強制強要はなかったとは、皮膚感覚としてありえない。

ちょうど反日反韓の嵐が吹き荒れる今年の夏、韓国に帰ったファミリーが一家ごと我が家に来た。手巻き寿司を振る舞い、昔話に花が咲いて、我が家は政治の話も普通にする。どういう話が出たかは、字数の都合上割愛するが、彼の長男が「日本の醤油は美味しい。全然違う」と言い「うれしいことを言ってくれるねえ」と、湯浅の高級醤油を一本進呈した。ちょうど下鴨神社の御手洗祭をやっていたので、お参りに出掛け、機嫌よく帰って行った。

余談であるが私にも朝鮮半島の血は流れていると思う。故郷には半島由来と思われる地名が残っているし。交わったのは弥生時代の昔だと思うが。

平素、KAHF の活動にご尽力頂き、有難うございます。お陰様で、2019 年度もいろいろな行事や個々の付き合いを通して、留学生との交流を深めることができました。今年度の活動をまとめたニュースレターを作成しましたので、どうぞお受け取り下さい。なお、ニュースレターはホームページでもご覧いただけます。行事予告などはホームページやフェイスブックでも行っています。

ホームページ URL : <http://kahf.web.fc2.com/>

フェイスブック グループ名 : KAHF (Kyoto Association of Host Families)